

(様式1)

自 己 評 価 票

作成日 平成 22 年3 月 31日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0895100048		
法 人 名	社会福祉法人 木犀会		
事業所名	花水木岩瀬館	ユニット名	大地
所 在 地	〒 309 -1211 茨城県桜川市岩瀬229-1		
自己評価作成日	平成 22年3 月 31 日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所 在 地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 22 年 5 月 28 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自立支援に向けきめの細かいサービスや外に出る機会を多くするよう心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	豊かさ・自立・生きがいを理念として上げている。玄関や、共有スペースなど、目につく所に掲示している。花水木岩瀬館として、自立支援を目指し、地域とふれあい 笑顔で共に支えながら アットホームな生活を共に楽しむ。を掲げています。共有しています。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りや消防団に寄付をしたり、子供100当番の家として登録しています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学会や介護相談を開催するが、施設への来訪者は少ない様です。見学に来た方の話を良く聴くように心がけています。
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会の開催や市役所へ足を運ぶ事により 以前より関係が築けています。保健士さんに相談をしたりしています。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯等、一人で対応しなくてはならない以外は、施錠をしない様に心がけている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待行為については、注意を払っているが、日頃から高齢者虐待防止法を学ぶ機会は少ない。今後は 施設内での勉強会に取り入れていきたい。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設として、権利擁護に関する、勉強会など、行なわれていない。今後 取り入れていきたい。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については、理解しやすい様、解りやすく、丁寧に説明を行い、納得して上で、契約を締結して頂いています。また 事前に契約書を読んでいただくこともあります。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱を設け、自由に言える環境を整えている。また面会時や電話でも受け付けている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設内で職員会議を開催、意見交換している。今後は 代表者に訪問していただく等して、職員の意見お伝えしていきたい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則がある。今後は、やりがいや、向上心を持てるような職場環境を整えていきたい。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人材教育については、実施不足であると思う。年間を通して定期的に研修や講習を受けられる機会を取り入れるよう努めていきたい
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の同業社の交流を兼ねて、施設の月刊誌などを配布し、訪問等の活動をしている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に不安や悩みを傾聴できるよう努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者・ケアマネ・担当職員が連携する、インテークからアセスメントについては、本人や家族の訴えを聞く時間を作り、共感することから始めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話の主旨を理解し、必要としている支援に繋がる助言や提供をしている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と職員が共同生活をしながら、過ごすという前提の上、食事を摂ったり、日常生活の作業も行なっている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等には、出来るだけ家族にも参加して頂ける企画や提案をしている。毎月 近況報告を行い連絡も密にとっています。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩で出かけたり、ドライブに出かけたりと馴染の所や人との交流を支援している。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日、歌やリハビリなど利用者様共通の時間を提供している。利用者様同士の談話の出来る空間を設置している。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御家族様と会った時は、近況をお聞きしたりするが、支援、相談は行なっていない。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の訴えを聞き、対応している。（様子を見ながら）
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族との話の中で、情報を得ている。（面会者なども含む）
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リハビリの中で、本人の体調を配慮し、レクリエーション・外出など工夫している。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回、ケアカンファレンスを行い、スタッフ間で話し合っている。御家族に 趣味や自宅で行なっていた事 馴染の物などを一緒に考えて頂いています。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録・日誌・申し送り簿などスタッフ間で情報を共有、朝・夕の申し送りで話し合っている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	墓参りや自宅に行きたいなど 要望に応じている。見学会や介護相談など開催している。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア等による訪問を実施している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との関係を切らない様に対応している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常時勤務看護師はいないが、各病院の看護師と連携をとっている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	各病院の先生・看護師と連携をとり、家族様と共に連携はとっている。入院時は、職員の面会を蜜にしている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	該当者がいない為、家族や主治医との話し合いはもたれていない。が今後 家族と主治医と話し合いが必要である。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習に参加している。定期的に救命講習会を開催していく。急変時 事故発生時のマニュアルがある。が勉強のために職員で見直し確認を考えています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルに添った対応方法を統一するようにしている。マニュアルの再検討など職員全員で考えていく。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に合わせた対応を行なっている。言葉遣いなど、声かけには配慮している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を上手く、表現できない利用者様には、本人の表現できる方法を見つけ出し、職員が細やかに気を配るようにする。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の要望等を聞き、余暇などの時間のつかい方を、決定できる様にしている。（散歩や外での日向ぼっこ）
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替える洋服を本人と一緒に決定したり、みだしなみも、意識をもって対応している。散髪なども定期的に馴染みのお店を利用してかかる様にしている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感を取り入れた、食材のときなど利用者様と一緒に昔話などをしながら、食事を摂る。片付けや準備などを手伝ってもらっている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量の観察や必要な方などは観察、調整を行なっている。体重管理の必要な方の調整など行なっている。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔のチェックなどしている。一人ひとりの力量にあわせ介助しています。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	リハパン等を使用している方でも時間をみて、トイレに誘導し、トイレに座って頂きます。失敗している事もありますが、トイレにて排泄できることもあります。今後 リハビリパンツ使用から、布パンツ使用への試みなど行なっていきたい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の出にくい方には、牛乳や食物繊維の多い食材などを提供したり、体操などの運動をして頂いたりしております。それでも無理な方には医師と相談した上で薬を処方して頂き服用してもらっています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の状態や気分に合わせて、無理することなく入浴して頂いております。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、安眠できる様に、日中お散歩をしたり、体操をしたりして、体を動かして頂いております。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	名前、時間帯（朝、昼、夕）を確認し間違いのない様に服用して頂いております。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや食器拭き、洗濯干しや洗濯たたみ、お掃除など、スタッフと一緒にしない、またドライブや塗り絵 歌など行なっています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所へのお散歩やレクリエーションでの外出など出来るだけ外へ出て頂ける様にしています。時々、家族の方にも協力をして頂き、外出・外食などをして頂いています。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	
			実 施 状 況	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実際に、本人様がお金を所持している方は少ないが、希望に応じた対応はしている。利用者様間の金銭トラブルなどに発展しない様に努めている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様が電話をしてほしいとの要望があれば、対応している。また、家族様から電話があれば、本人様と通話できる支援をしている。	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先には、季節の花を飾ったり、リビング空間には、緑の植物を飾ったりしている。また、季節感のある作品を、利用者様と共に製作し壁面に飾ったり、月のレクの写真を飾ったりと、居心地の良い空間作りを工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの配置を工夫したり、ソファを活用しています。玄関にも長椅子、庭先にもベンチを配置しています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ、本人様が自宅で使用していた家具を用意して頂いています。転倒、転落を助長する配置を避け、整理整頓に気を配っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には、手すりが設置してあり、自力歩行を助長している。お風呂場には、立ち上がりやすい様、取っ手が設置してあります。トイレには、矢印やトイレの標示を施してある。	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	☐ 1, ほぼ全ての利用者の ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	☐ 1, 毎日ある ☐ 2, 数日に1回程度ある ☐ 3, たまにある ☐ 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	☐ 1, ほぼ全ての家族と ☐ 2, 家族の2/3くらいと ☐ 3, 家族の1/3くらいと ☐ 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	☐ 1, ほぼ毎日のように ☐ 2, 数日に1回程度ある ☐ 3, たまに ☐ 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	☐ 1, 大いに増えている ☐ 2, 少しずつ増えている ☐ 3, あまり増えていない ☐ 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	☐ 1, ほぼ全ての職員が ☐ 2, 職員の2/3くらいが ☐ 3, 職員の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	☐ 1, ほぼ全ての家族等が ☐ 2, 家族等の2/3くらいが ☐ 3, 家族等の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない